

# 2リットルペットボトル内製化

## ハルナビバレッジ コスト2割削減

飲料メーカーのハルナビバレッジ(群馬県高崎市)は月内に、和歌山県内の子会社工場で2リットルペットボトルの生産を始める。従来の外部調達から、ほぼ全量を生産に切り替えることで、コストを2割削減する。コスト競争力を高め、主力としている小売りのプライベートブランド(PB)自主企画商品の取り扱いを増やす。

同社の完全子会社、ハ

ルナジョイパック(和歌山県海南市)に容器製造設備を導入した。投資額は明らかになっていない。同装置でペットボトルの半製品を膨らませて成形し、飲料を充填する。

ハルナビバレッジは大手小売業のPB商品などを生産している。消費者は割安感のある2リットル飲料を好む傾向が強いが、このサイズは納入価

格も低いため、収益の圧迫要因になっていた。

同社はすでに製造子会社のハルナファクトリー(高崎市)の工場で容器を生産し、コスト削減効果が出ている。ハルナジョイパックでもペットボトルの製造を始めることで、飲料の最盛期である夏季を除き、2リットル容器のほぼ全量を生産する。